

2026年3月期 中間期 決算説明資料

共英製鋼株式会社

（東証プライム：5440）

2025.10.31

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 中間期決算報告

3

2026年3月期 通期業績予想

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 中間期決算報告

3

2026年3月期 通期業績予想

海外の復調が国内の減益をカバーし、全体で前年同期比大幅増益

■ 2026年3月期 中間期 実績

	前年同期	当期中間期	増減
売上高	1,610億円	1,547億円	 ▲64億円
経常利益	61億円	85億円	 + 24億円
出荷量	152万トン (国内73万トン 海外80万トン)	160万トン (国内69万トン 海外91万トン)	 + 8万トン

- 国内鉄鋼事業：人手不足・酷暑による工期遅延・長期化で出荷量減→**減収減益**
- 海外鉄鋼事業：ベトナムの需要回復による出荷量増・堅調なカナダが利益を牽引
→前年同期比+42億円の**大幅増益**

■ 2026年3月期 通期業績予想

- 通期業績：売上高 3,230億円、経常利益 160億円（変更なし）
- 通期出荷量：329万トン（国内140万トン、海外189万トン）前期比 + 13万トン
- 年間配当予想に変更なし 1株当たり90円（中間 30円、期末 60円）

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 中間期決算報告

3

2026年3月期 通期業績予想

前年同期対比減収増益

期間：2025年4月1日～9月30日

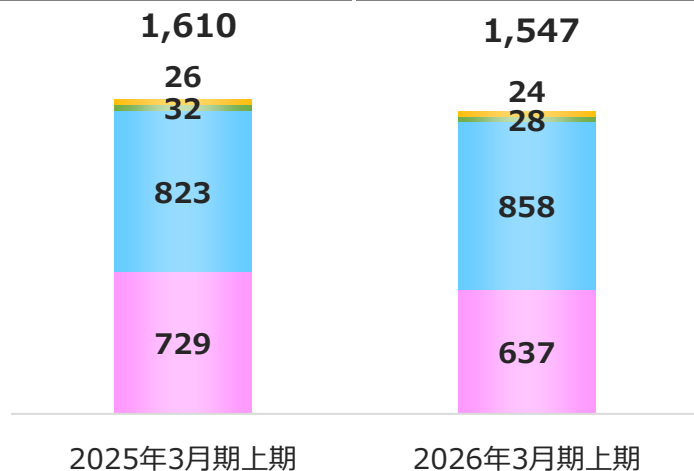
		2025年3月期		2026年3月期			前回予想	増 減	
		上期	下期	1Q	2Q	上期	上期	対前期上期	対前回予想
売上高	単位 億円	1,610	1,618	742	805	1,547	1,540	▲ 64 ▲3.9%	+7 +0.4%
営業利益		59	94	43	49	92	80	+33 +55.7%	+12 +15.1%
経常利益		61	96	41	44	85	75	+23 +38.3%	+10 +13.1%
当期純利益		51	57	27	27	54	48	+4 +7.3%	+6 +13.2%

セグメント別業績概要（2026年3月期 中間期）

- 国内：建設現場の人手不足や酷暑による工期の遅延・長期化により出荷量は減少、前期対比減収減益
- 海外：ベトナム拠点の需要が引き続き旺盛、北米も需要環境良好、米国拠点の赤字幅縮小で増収増益
- 環境リサイクル：競争環境激化、処理量減により減収減益

売上高（億円）

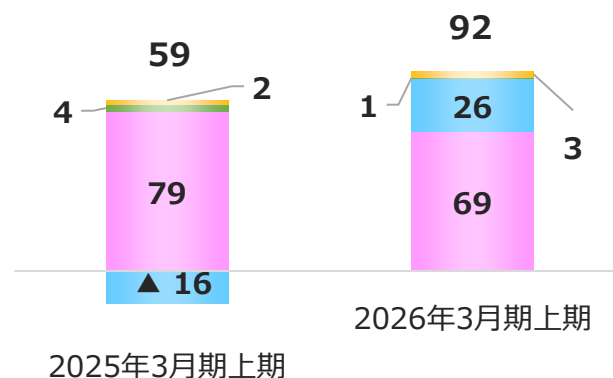
	2025年3月期			2026年3月期			前回予想
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	上期
国内鉄鋼事業	382	347	729	327	311	637	642
海外鉄鋼事業	371	452	823	388	469	858	843
環境リサイクル事業	17	15	32	13	14	28	32
その他事業	13	13	26	13	11	24	23
合計	783	827	1,610	742	805	1,547	1,540



営業利益（億円）

	2025年3月期			2026年3月期			前回予想
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	上期
国内鉄鋼事業	47	32	79	40	29	69	60
海外鉄鋼事業	▲ 18	2	▲ 16	6	20	26	24
環境リサイクル事業	3	0	4	0	0	1	2
その他事業	1	1	2	2	1	3	2
合計	31	28	59	43	49	92	80

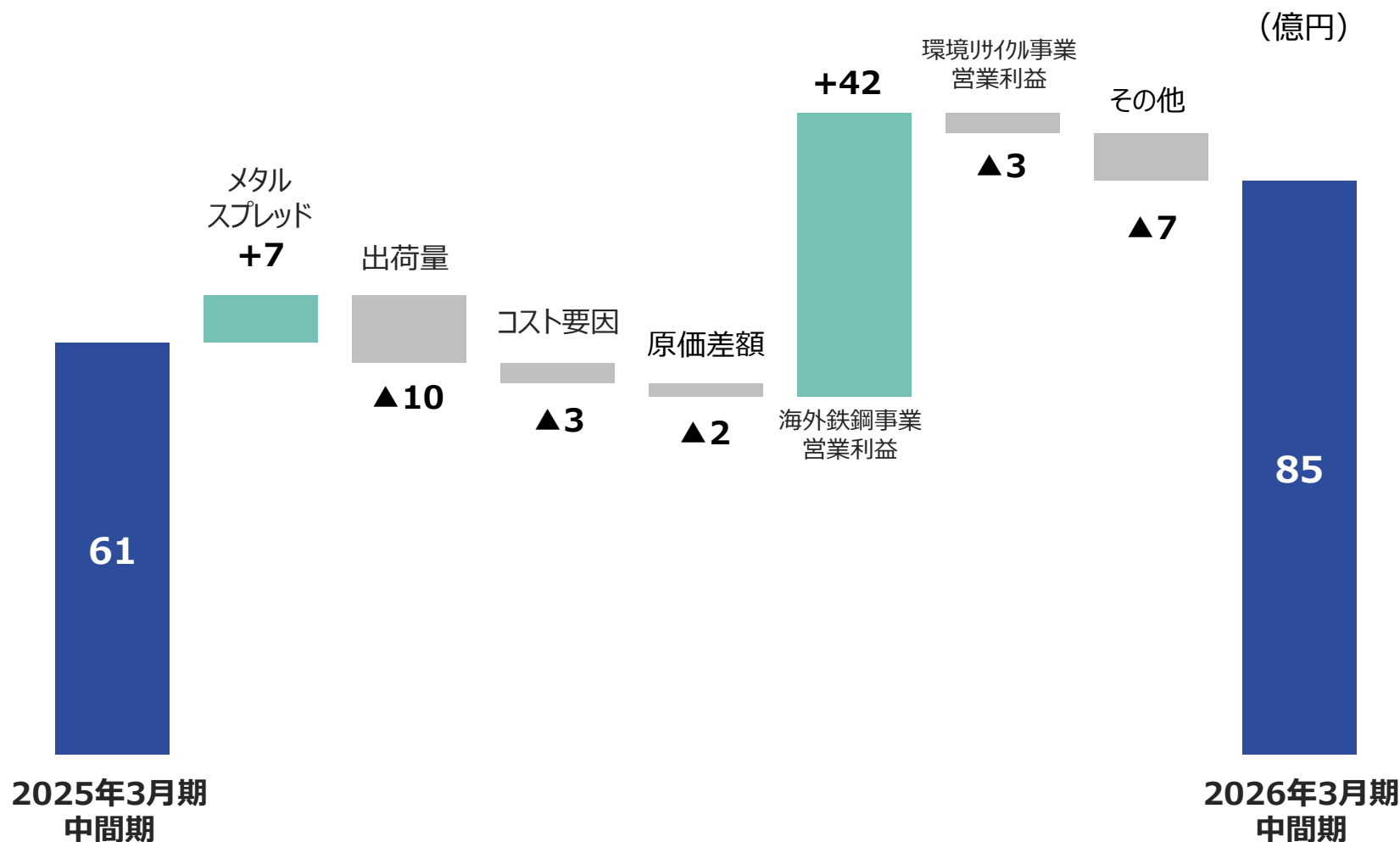
※ 営業利益合計との差異は、消去または全社費用分



国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

経常利益の変動要因（前年同期対比）

2026年3月期 中間期の経常利益が 前年同期対比24億円増加した要因



- 建設現場の人手不足や猛暑による工期遅延・長期化により、鋼材需要は引き続き弱基調で推移、出荷量は前年同期比35千トン減少
- スクラップ価格、製品価格は前回予想通りの下げ幅となり、メタルスプレッドは54.1千円と前年同期比拡大

	2025年3月期				2026年3月期			前回予想	増 減	
	1 Q	2 Q	上 期	下 期	1 Q	2 Q	上 期	上期	対前年上期	対上期予想
製品出荷量 (千トン)	379	346	725	726	347	344	690	690	▲ 35 (▲4.8%)	+0 (+0.0%)
メタルスプレッド (千円/トン)	51.6	54.6	53.1	57.7	54.9	53.3	54.1	53.9	+1.0 (+2.0%)	+0.2 (+0.3%)

※1 メタルスプレッド = 製品出荷単価 - スクラップ消費単価

※2 比較欄の上段は増減数量、カッコ内数値は増減比率

海外鉄鋼事業：業績概要

- ベトナム南部拠点：旺盛な需要を捉え出荷量は前年同期対比大幅に増加、続けてきたコスト削減が奏功し、前年同期比大幅に増益、安定的な収益基盤を構築
- ベトナム北部拠点：北部の旺盛な需要に対応した販売拡大を図り、前年同期対比で出荷量増値上げ努力とコスト削減策が奏功し、前年同期比大幅に増益
6月にVIS社の新圧延工場が稼働開始、立ち上げは順調

ベトナム拠点（南部・北部）

単位	2025年3月期				2026年3月期			前回予想	前期対比（上期）		計画対比（上期）	
	1 Q	2 Q	上期	下期	1 Q	2 Q	上期	上期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	208.7	296.6	505.3	550.1	234.9	308.8	543.7	540.1	+38.4	+7.6%	+3.6	+0.7%
営業利益	▲7.0	3.6	▲3.4	▲7.4	1.1	19.9	21.0	18.5	+24.4	-	+2.5	+13.3%
製品出荷量	238	329	566	654	284	389	674	674	+107	+18.9%	+0	+0.0%

- 米国拠点：米国関税の影響で需要増、市況も上昇傾向にあるが、設備老朽化によって稼働率に課題がある状態が継続、2Qも赤字計上
- カナダ拠点：米国製品に対する報復関税により、鉄筋の輸入が抑制され、市況が上昇傾向の中、鉄筋の販売が好調で高い収益性を維持、前年同期対比で大幅に増益

北米拠点（米国・カナダ）

単位	2025年3月期				2026年3月期			前回予想	前期対比（上期）		計画対比（上期）	
	1 Q	2 Q	上期	下期	1 Q	2 Q	上期	上期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	164.8	160.3	325.0	320.0	154.8	160.7	315.5	307.4	▲ 9.6	▲2.9%	+8.1	+2.6%
営業利益	▲10.9	▲1.7	▲12.5	7.0	5.5	0.6	6.1	6.6	+18.6	-	▲ 0.5	▲7.1%
製品出荷量	118	111	230	233	114	120	234	234	+4	+1.9%	+0	+0.0%

※ 海外子会社は12月決算（期間：1月1日～6月30日）

環境リサイクル事業

- 前年同期対比 減収減益
- 競合環境の激化により単価下落および処理量の減少、それに伴い処理コストも増加

		2025年3月期				2026年3月期			前回予想	前期対比（上期）		計画対比（上期）	
単位		1 Q	2 Q	上 期	下 期	1 Q	2 Q	上 期	上 期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	億円	16.5	15.3	31.8	30.6	13.4	14.1	27.5	32.0	▲ 4.3	▲13.6%	▲ 4.5	▲14.0%
営業利益		3.1	0.5	3.6	3.2	0.3	0.4	0.7	2.0	▲ 2.8	▲79.3%	▲ 1.3	▲63.0%

その他の事業

- 前年同期対比 増収増益
- ベトナム鋳物事業：需要は堅調、コスト削減により利益率を高め、前年同期並みの利益を計上
- ベトナム港湾事業：鉄鋼需要の伸びによりスクラップ取扱量が増加、前年同期対比増収増益
- 国内鋳物事業：筋肉質な経営体制への改善施策が奏功し、黒字化

		2025年3月期				2026年3月期			前回予想	前期対比（上期）		計画対比（上期）	
単位		1 Q	2 Q	上 期	下 期	1 Q	2 Q	上 期	上 期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	億円	13.0	13.4	26.4	23.5	13.0	11.4	24.3	23.0	▲ 2.0	▲7.7%	+1.3	+5.8%
営業利益		1.2	0.8	2.0	2.4	1.8	1.1	2.9	2.2	+0.8	+40.6%	+0.7	+30.8%

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 中間期決算報告

3

2026年3月期 通期業績予想

業績予想（2026年3月期 通期）

- 売上高、利益ともに据え置き
- 売上高、利益とも前期実績とおおむね同水準（ただし営業利益は+11%）
- 配当予想は変更なし

前回予想

		2026年3月期		
		上 期	下 期	通 期
	単位			
売上高		1,540	1,690	3,230
営業利益	億円	80	90	170
経常利益		75	85	160
当期純利益		48	57	105

今回予想

2026年3月期			参考：前期実績		増減率	
上 期	下 期	通 期	下期	通期	対前期実績	
					下期	通期
1,547	1,683	3,230	1,618	3,228	+4.0%	+0.0%
92	78	170	94	153	▲17.3%	+10.9%
85	75	160	96	157	▲21.8%	+1.6%
54	51	105	57	108	▲11.5%	▲2.7%

		中 間	期 末	年 間
	単位			
1株当たり 配当金	円	30	60	90
配当性向	%	-	-	37.3

中 間	期 末	年 間	増減
30	60	90	-
-	-	37.3	+0.0

※為替 前提 通期 150円/\$

※為替 前提 下期 150円/\$

セグメント別業績予想（2026年3月期 通期）

- 前年同期比：国内鉄鋼事業・環境リサイクル事業は**減益**、海外鉄鋼事業は**増益**の見通し
- 前回予想比：国内鉄鋼事業・環境リサイクル事業は**減益**、海外鉄鋼事業は**増益**の見通し

売上高

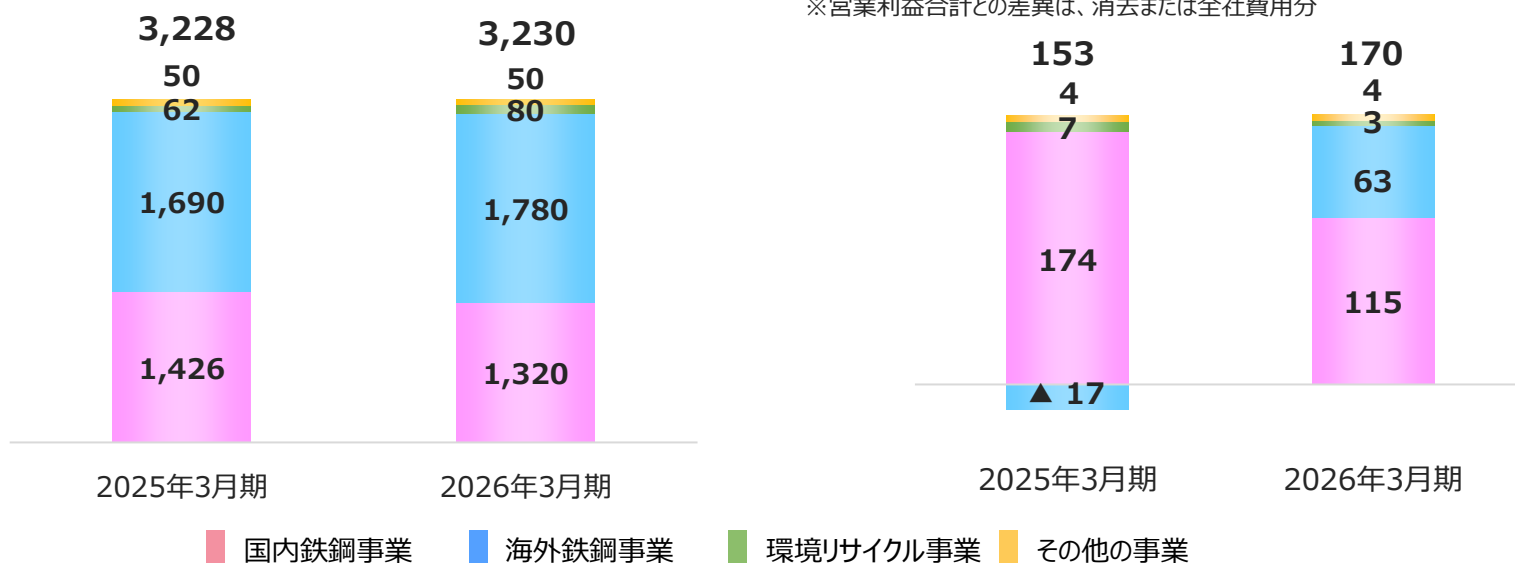
(億円)

営業利益

(億円)

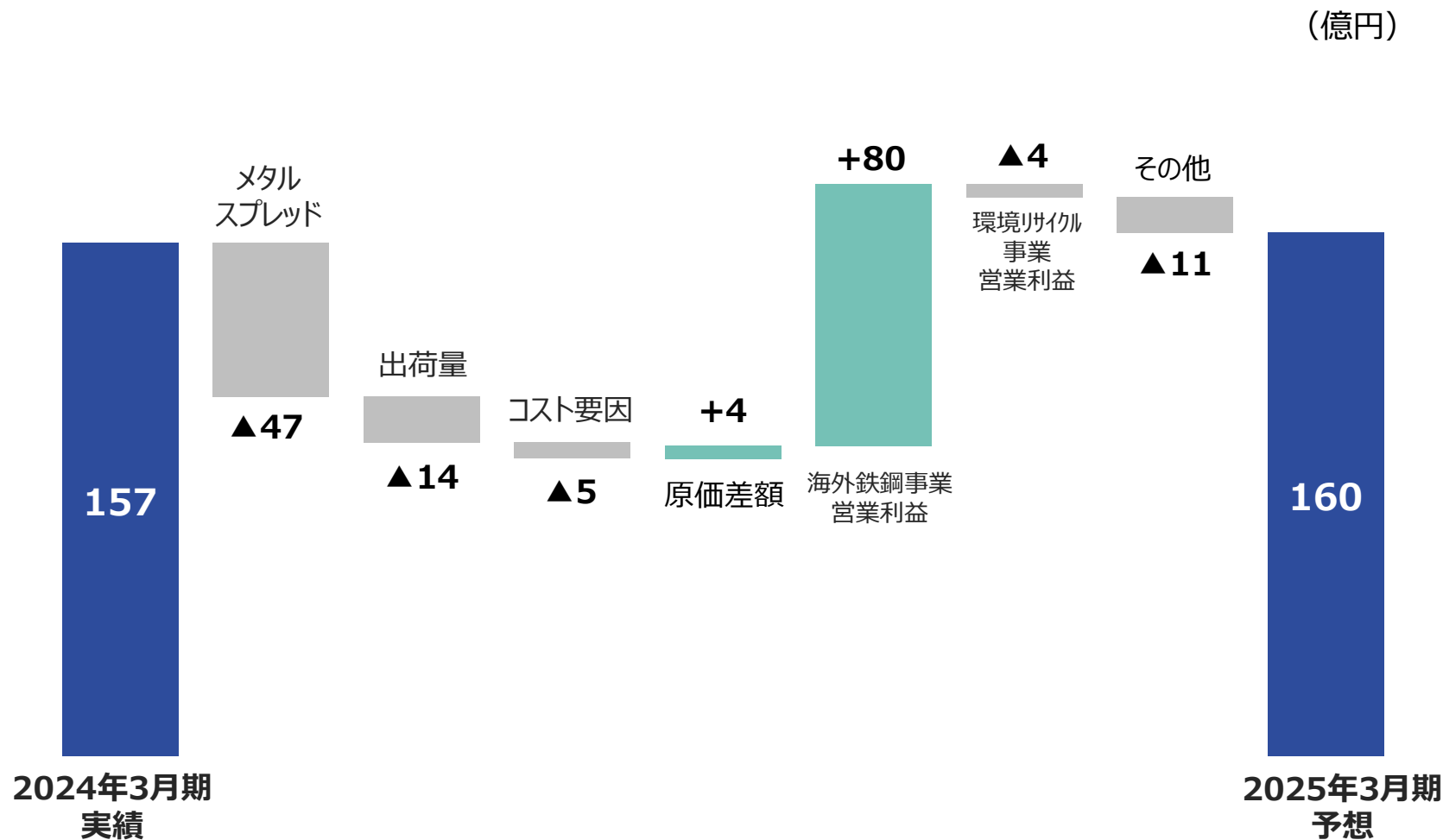
	2025年3月期			2026年3月期			前回予想			2025年3月期			2026年3月期			前回予想	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	下期	通期		上期	下期	通期	上期	下期	通期	下期	通期
国内鉄鋼事業	729	697	1,426	637	683	1,320	678	1,320		79	95	174	69	46	115	60	120
海外鉄鋼事業	823	867	1,690	858	922	1,780	947	1,790		▲ 16	▲ 1	▲ 17	26	37	63	36	60
環境リサイクル事業	32	31	62	28	52	80	40	72		4	3	7	1	2	3	3	5
その他事業	26	24	50	24	26	50	25	48		2	2	4	3	1	4	2	4
合計	1,610	1,618	3,228	1,547	1,683	3,230	1,690	3,230		59	94	153	92	78	170	90	170

※営業利益合計との差異は、消去または全社費用分



経常利益の変動要因：通期予想（前期実績対比）KYOEI STEEL

2026年3月期通期の経常利益が前期実績対比3億円増加する要因



通期の前提数値

出荷量は前回予想から据え置きの**140万トン**

10月にスクラップ価格の値上げがあったため、下期にかけて上昇する見込み

	2025年3月期			2026年3月期			前回予想		増 減			
	上 期	下 期	通 期	上 期	下 期	通 期	下 期	通 期	対前年同期 (下期)	対前年同期 (通期)	対前回予想 (下期)	対前回予想 (通期)
製品出荷量 (千トン)	725	726	1,451	690	710	1,400	710	1,400	▲ 16 (▲2.2%)	▲ 51 (▲3.5%)	▲ 0 (▲0.0%)	+0 (+0.0%)
メタルスプレッド (千円/トン)	53.1	57.7	55.4	54.1	50.0	52.0	53.0	53.4	▲ 7.7 (▲13.3%)	▲ 3.3 (▲6.0%)	▲ 3.0 (▲5.6%)	▲ 1.4 (▲2.7%)

※1 メタルスプレッド = 製品出荷単価 - スクラップ消費単価

※2 比較欄の上段は増減数量、カッコ内数値は増減比率

- ベトナム南部拠点：上期に引き続き、政府主導のインフラ投資を中心に需要は好調
出荷量増とコスト削減努力の継続により前回予想比で増益の見通し
- ベトナム北部拠点：競合環境は依然として厳しいものの、需要増に対応した販売拡大や
VIS社新圧延工場での出荷量増によりコスト削減を推進し
前回予想比で増益の見通し

ベトナム拠点（南部・北部）

単位	2025年3月期			2026年3月期			前回予想		前期対比		前回予想対比	
	上期	下期	通期	上期	下期 (予)	通期 (予)	下期	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	505.3	550.1	1,055.4	543.7	611.5	1,155.2	597.9	1,138.0	+99.9	9.5%	+17.2	1.5%
営業利益	▲3.4	▲7.4	▲10.8	21.0	21.2	42.2	15.2	33.7	+53.0	-	+8.5	25.2%
製品出荷量	566	654	1,221	674	763	1,436	765	1,439	+216	17.7%	▲3	▲0.2%

- 米国拠点：米国関税の影響により需要は堅調、市況も上昇傾向
日本人技術者の派遣による生産性を改善、値上げによるスプレッド拡大を見込み
下期黒字化の見通し
- カナダ拠点：鉄筋を中心に引き続き需要は堅調
8月に発生した生産トラブルにより一時的に生産・出荷量が減少し、

北米拠点（米国・カナダ） 前回予想比では減益の見通しだが、通期30億円超の高水準の収益を維持

単位	2025年3月期			2026年3月期			前回予想		前期対比		前回予想対比	
	上期	下期	通期	上期	下期 (予)	通期 (予)	下期	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	325.0	320.0	645.1	315.5	311.0	626.5	349.7	657.1	▲18.6	▲2.9%	▲30.6	▲4.7%
営業利益	▲12.5	7.0	▲5.5	6.1	18.7	24.8	20.9	27.5	+30.3	-	▲2.7	▲9.8%
製品出荷量	230	233	463	234	215	449	267	501	▲14	▲3.1%	▲53	▲10.5%

環境リサイクル事業

- 前期対比 増収減益の予想
- 鹿島建設との協業によるアスベストなどの有害物質が付着した金属廃棄物処理の拡充
- フロン破壊処理など単価の高い処理の強化

	単位	2025年3月期			2026年3月期			前回予想		前期対比		前回予想対比	
		上 期	下 期	通 期	上 期	下 期	通 期	下 期	通 期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	億円	31.8	30.6	62.4	27.5	52.5	80.0	40.0	72.0	+17.5	28.1%	+8.0	11.1%
営業利益		3.6	3.2	6.7	0.7	2.4	3.2	3.0	5.0	▲ 3.6	▲52.9%	▲ 1.8	▲36.6%

その他事業

- 前期並みの予想
- ベトナム鋳物事業：需要は堅調、日本向け新規顧客獲得に注力し、前期並みの利益を見込む

	単位	2025年3月期			2026年3月期			前回予想		前期対比		前回予想対比	
		上 期	下 期	通 期	上 期	下 期	通 期	下 期	通 期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	億円	26.4	23.5	49.9	24.3	25.7	50.0	25.0	48.0	+0.1	0.2%	+2.0	4.2%
営業利益		2.0	2.4	4.5	2.9	1.3	4.2	1.5	3.7	▲ 0.3	▲5.8%	+0.5	14.0%

免責事項

- 本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予想が記述されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。
- これらの情報を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。

 **共英製鋼株式会社**

参考：連結貸借対照表

■ 資産の部

	24年 3月期末	25年 3月期末	26年3月期 中間期	増 減
資産の部				
現金預金	576	645	500	▲ 145
売上債権	934	716	674	▲ 42
有価証券	0	0	80	80
棚卸資産	650	686	656	▲ 30
その他	48	66	78	12
流動資産合計	2,209	2,113	1,988	▲ 125
有形固定資産	1,014	1,097	1,086	▲ 12
無形固定資産	38	31	28	▲ 3
投資その他	281	287	282	▲ 5
固定資産計	1,333	1,415	1,396	▲ 20
資産合計	3,542	3,528	3,384	▲ 145

■ 負債・純資産の部

	24年 3月期末	25年 3月期末	26年3月期 中間期	増 減
負債の部				
仕入債務	252	269	307	38
短期借入金	601	555	554	▲ 1
その他	226	209	162	▲ 47
流動負債合計	1,079	1,033	1,023	▲ 10
社債	100	100	0	▲ 100
長期借入金	226	181	152	▲ 29
その他	122	124	119	▲ 5
固定負債合計	449	404	270	▲ 134
負債合計	1,528	1,437	1,293	▲ 144
純資産の部				
自己資本	1,946	2,030	2,031	1
非支配株主持分	68	62	60	▲ 2
純資産の部合計	2,014	2,092	2,091	▲ 1
負債・純資産合計	3,542	3,528	3,384	▲ 145

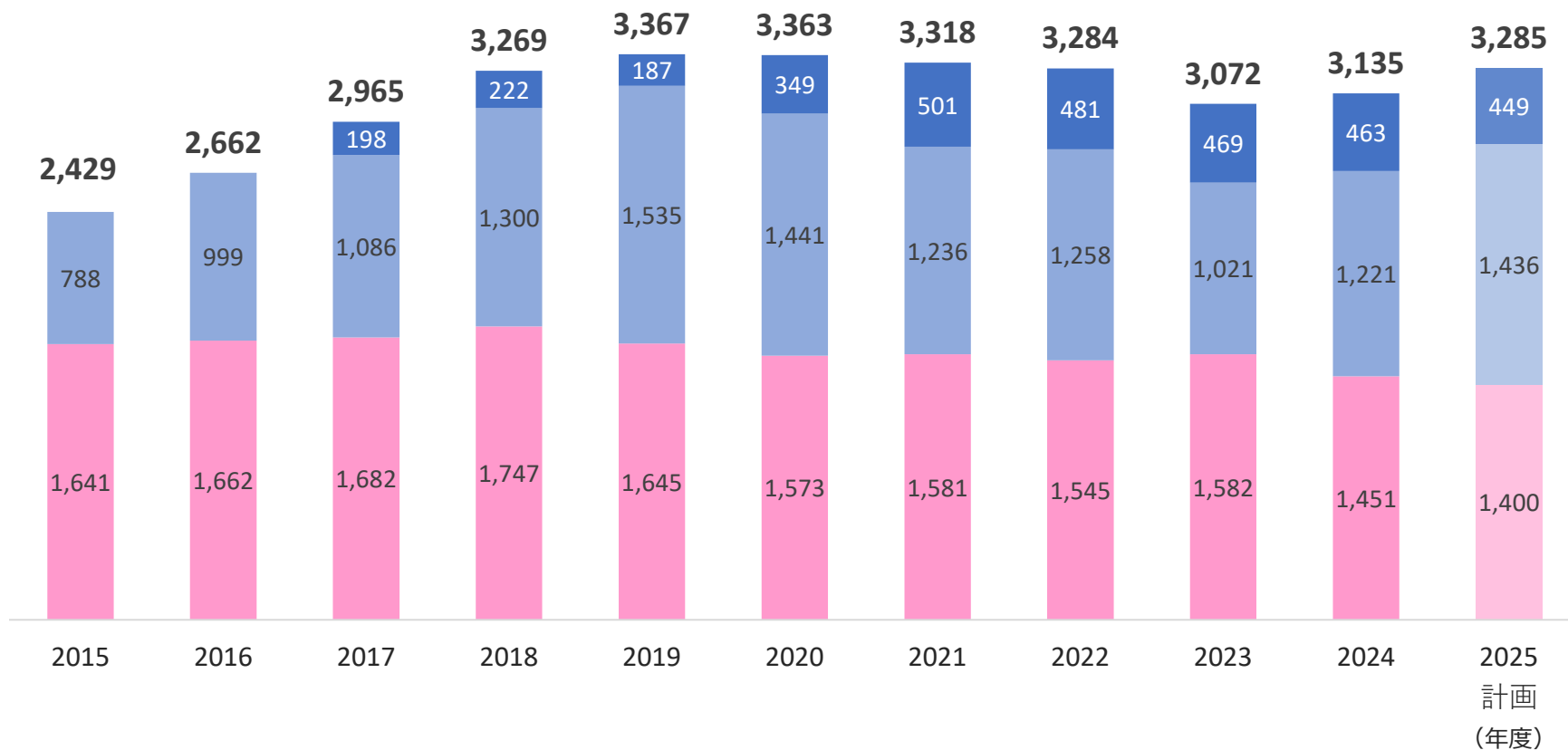
■ 参考：経営指標

	24年 3月期末	25年 3月期末	26年3月期 中間期	増 減
自己資本比率	54.9%	57.5%	60.0%	2.5pt
ネットDEレシオ	0.18倍	0.09倍	0.10倍	0.01pt

製品出荷量推移：国内・海外

- 国内
- ベトナム
- 北米

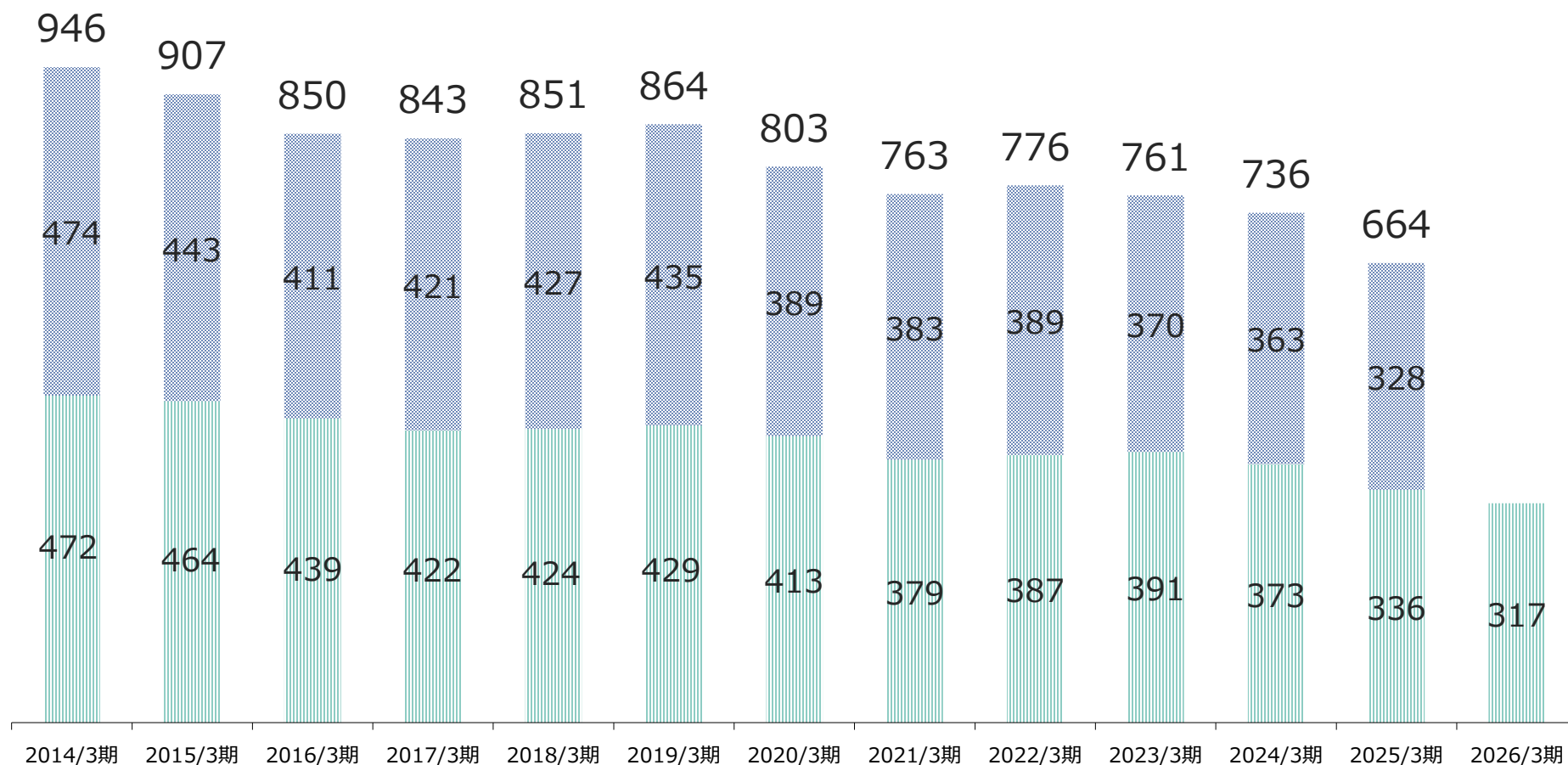
(千トン)



参考：全国小形棒鋼生産量推移

■ 2025年度上期の全国小形棒鋼生産量は317万トン、前年同期対比▲5.7%
■ 2025年度上期の全国小形棒鋼生産量は317万トン、前年同期対比▲5.7%

(万トン)



(出典) 日本鉄鋼連盟資料

参考：当社グループの国内拠点



山口事業所

異形棒鋼（全サイズ）、構造用棒鋼、
小形形鋼（平鋼、Iバー、等辺山形鋼）



枚方事業所

異形棒鋼（細物）、丸鋼



共英産業(株)

鉄筋加工、鋼材販売ほか



共英マテリアル(株)

スクラップ集荷・加工



(株)吉年 鋳物製造



(株)共英メソナ

環境リサイクル事業



関東事業所

異形棒鋼（細物）



名古屋事業所

異形棒鋼（全サイズ）、
ネジ鉄筋、高張力鋼

その他の国内拠点

- ・ 共英リサイクル(株)
- ・ 共英加工販売(株)
- ・ みどり精密工業(株)
- ・ 中山鋼業（持分法適用）



参考：当社グループの海外拠点（ベトナム）



1 ベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）

ベトナム フンエン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：製鋼45万トン/年、
圧延80万トン/年



2 キョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC社）

ベトナム ニンビン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：圧延30万トン/年



3 ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）

ベトナム ホーチミン市

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）

生産能力：製鋼70万トン/年、圧延90万トン/年



4 チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP社）

ベトナム ホーチミン市

事業内容：港湾事業



5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE社）

ベトナム ハイフォン市

事業内容：鋳鉄製品製造・販売

生産能力：9,000トン/年





アルタ・スチール
(アルバータ州)

1

ビントン・スチール
(テキサス州)

2



1 アルタ・スチール（AltaSteel）社

カナダ アルバータ州

事業内容：鋼材の製造・販売、
スクラップメタルの処理・販売

生産能力：製鋼30万トン/年
圧延27万トン/年

設立年：2020年（創業は1955年）

2 ビントン・スチール（Vinton）社

米国 テキサス州

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、鉄球）

生産能力：製鋼25万トン/年、
圧延20万トン/年（棒鋼）
鍛造 5万トン/年（鉄球）

設立年：1962年